



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

民主主義の大切さ

校長 永浜 裕之

私たちは今、痛みを耐えています。

低迷の続く経済、相次ぐ災害、終わりの見えぬ感染症。加えて、隣国ロシアによるウクライナ侵略や、首相経験者の暗殺。知恵を絞って乗り切る覚悟が求められます。

書くべきか否か悩みましたが、今回は安倍元首相暗殺事件をとおして、「未来を託す生徒の皆さんに伝えたい」ことを書きます。皆さんは、私の話を鵜呑みにすることなく、「私ならこう考える」という自分の意見を持ってください。

その前に一つ。終戦記念日が8月15日ということもあり、夏は先の大戦に関する報道が増え、平和について考える機会が増える気がします。明治時代が始まり、太平洋戦争終結まで77年。ポツダム宣言を受諾したあの日から、令和4年8月15日まで同様に、77年が経過しました。

戦争を体験していない世代が増えていく中、当事者しかできない「体験」はできなくとも、直接体験していないことを言葉で再構築する「経験」により、生徒の皆さんは、数々の歴史を経験化して、「歴史から学ぶ」という姿勢を大切にしてほしいと考えます。

さて、日本の憲政史上、在職最長となる安倍元首相が、凶弾に倒れました。

白昼堂々、その演説を多くの聴衆が見守る中での暴挙です。

「民主主義への蛮行」、「卑劣な言論封殺」。

最大級の言葉で表される重大な社会的影響に比べて、明らかになる容疑者の情報に釈然としない思いを抱きます。動機は恐ろしく身勝手。政治的な意図はなく、一方的に個人的な理由による凶行のようです。

この事件に関する報道に触れた時、私は、犬養毅や浜口雄幸、原敬といった、首相暗殺事件を思い出しました。事件の歴史的重大性とは対照的に、容疑者たちの供述は、肩透かしを食らうほど、短絡的で薄っぺらいものでした。

しかし、動機がどうであれ、民意の代表者たる政治家を殺害する暴挙は、実行を許せば社会に不安をもたらすとともに言論活動を少なからずとも侵食します。

今回の事件を、5・15事件と紐づける報道を目にすることがあります。

しかし、首相公邸を舞台とする「犬養毅」暗殺は、相次ぐテロとテロ未遂に寛大に接し続けた末の悲劇と考えます。事件の底流を歴史的に探るのであれば、私はむしろ「原敬」暗殺の背景に、時代の相が重なって見える気がします。1921年当時、各地で米騒動が勃発し、物価高騰で貧富の差が拡大、行政の救済政策は機能しませんでした。格差社会の不穏な空気に内務大臣は「階級調和」を求める訓令まで発布しました。

いつの世も、格差是正や階級対立の調整を担うべきものは政治ですが、当時の政治家は、民に届く言葉を持たずに、利権や汚職にまみれていました。大正デモクラシー末期のテロからわずか数年後、日本は昭和初期の連続テロ、そして戦争の時代へと踏み入れていったのです。

歴史は繰り返すと言います。

しかし、私たちはまだ踏ん張ることができる地点にいると考えます。

暴力、それを容認する空気には、言論で、徹底的に対峙するしかありません。

開成高校の校章が示すように、「ペンが剣よりも強し」なのです。

とはいえ、現代は言論の劣化が著しいと、私は感じています。

社会的弱者へのヘイトが量産され、分断をおおる言説が幅を利かせています。発信力が増すネット社会では、実名なら到底発せられぬような乱暴な言葉が飛び交っています。

人々の善意と信頼、そして「言葉」が前提の民主主義は、ガラス細工のようにもろいものです。だからこそ、暴力やテロをはぐくむ土壌を作ってはなりません。

先人たちが築き上げてきた、自由で平和な暮らしをこれからも享受するために、私たち自身の身辺から見つめ直せることは、多いのではないのでしょうか。

本事件が起こした衝撃は簡単には消えません。幸いにも現状では、事件を利用して自分の主張を広げようとしたり、事件をまねてさらに衝撃を広めようとしたりといった事案は発生していません。

成熟しているはずの日本の民主主義の真価が問われるのはこれからです。

自ら発する言葉に責任を持つ。まずは小さな一歩から始めてみたらいかがでしょうか。

海外留学に向けて

情報科 2部8組 藤田 英知

僕は小学一年生からバレエを続けています。ここ何年かは練習が夜遅く、体を休めるために時間の融通が効く山吹を選びました。最初は山吹の制度に甘えて午前の授業を落としそうになったり……

そんな学校生活も少し改善されたかと思ってきていた時、去年の10月に出たコンクールで複数箇所の短期留学に行く権利をもらいました。今年の1月から2月くらいにかけてヨーロッパに行き、さらにその時にここに行きたいと思ったオランダの学校に9月から入学させていただけることになりました。海外の文化にも触れ、さらにいろいろなことを吸収してくるつもりです！



自分がバレエを通して学んだことは、自分に自惚れるのではないけれど、自信のある所を持つと良いということです。自信を持てると、前向きになれると思います。何かちょっとでも出来ることをさらに頑張っただけでも得意になることで自分の武器になってくれるはずですよ。

二つ目は、努力してもどうしようもないこともあることと、努力して身につくこともあるということ。遺伝であったり条件であったりは覆せないことがほとんどですが、努力して身につくことを頑張っただけでも成長が分かれば、それもまた自信につながると思います。

今までの自分を思い返すと、自信がないために他の面の成長や、やる気などが小さかったような気がします。些細なことでも良いので自分の得意を見つけて自信に繋げてみてください！

これからも後退しないよう精進して行きます！

(長年バレエに打ち込んでいる生徒が海外留学へ行くことになり、本人からのメッセージを紹介します。ぜひ応援してあげてください！ By 担任)

＜定時制課程＞令和4年度 二次夏期講習一覧

今夏実施した定時制課程の夏期講習を紹介します。受験対策をはじめ、復習や得意分野伸長に向け、受講者は熱心に学習しました。

教科	期間	時間帯	科目・講座名	教科	期間	時間帯	科目・講座名
国語	相談	相談	国語科個別指導	数学	8/1～8/6	13:10～14:50	数列入試演習(ポイントのすべてを学ぶ)
	8/15～8/18	13:10～14:50	難関大学現代文		8/22～8/26	13:10～14:50	数Ⅲ演習(極限・微分)
	8/1～8/5	10:40～12:20	難関大学古文	外国語	7/25～7/29, 8/1, 8/2	10:40～12:20	共通テスト対策シリーズ(Reading)
	8/1～8/5	13:10～14:50	難関大学漢文		7/25～7/29, 8/1, 8/2	9:20～10:20	共通テスト対策シリーズ(Listening)
	相談	相談	小論文・志望理由書添削個別指導		7/27～7/29	13:10～14:50	理解できる英文法(仮)
	8/22～8/26	13:10～14:50	難関大学古文		8/2, 3, 4, 5	13:10～14:50	自由英作文(グラフ問題)
地歴 公民	7/21～22, 7/25～26	14:00～18:00	近代経済史・社会史	英語	7/25～8/19(時間内の平日・休講日あり)	13:10～16:10	英文法60時間特訓
	7/28～29	14:00～18:00	近代文化史		情報	7/25～7/29	11:10～12:40 13:30～15:00
	7/25～29	15:10～16:50	大学入学共通テスト「倫理」～傾向と対策～	8/24～8/26		13:00～15:00	情報オリンピック対策(オンライン開催予定)
	7/21, 22, 25～28	13:00～16:00	東欧・アフリカ・東南アジア史	7/22		13:00～17:00	ドローンプログラミング
	7/25～29	10:40～12:20	日本史B史料	7/22		13:00～16:00	DTM(デスクトップミュージック)基礎講座
	7/26～27	13:10～14:50	国際政治	8/15		13:00～17:00	PC解体講座
	7/29	13:10～14:50	時事問題 & N検対策	8/1～5	10:40～14:50	デジタル色彩士検定	
数学	7/25, 26, 27, 28, 29, 30	13:10～14:50	発展演習(高校数学の胆を徹底)	進路	7/25～29	13:10～14:50	推薦入試面接対策講座【進路系】
	8/1～8/6	10:40～12:20	ベクトル入試演習(使い道を味わう)				

定時制課程 学校行事予定

9月1日(木) 転編入入学式
 授業開始、避難訓練
 9日(金) 自己探索学習④
 16日(金) 前期末考査時間割発表
 19日(月) 敬老の日、開校記念日
 23日(金) 秋分の日
 26日(月)～30日(金) 前期末考査
 10月1日(土) 都民の日、学校説明会

通信制課程 学校行事予定

9月1日(木) 転編入入学式(10:00～)
 3日(土) スクーリング1-12、避難訓練
 10日(土) 前期試験①
 17日(土) 前期試験②
 19日(月) 敬老の日、開校記念日
 23日(金) 秋分の日
 24日(土) 前期試験③
 10月1日(土) 都民の日